

数 学

(医 学 部)

— 2月7日 —

次の空欄を埋めなさい。

解答は、分数の場合には既約分数の形で書きなさい。

1 (1) $0 < \alpha < \frac{\pi}{2}$, $0 < \beta < \frac{\pi}{2}$; $0 < \gamma < \frac{\pi}{2}$ とする. $\tan \alpha = \frac{1}{3}$, $\tan \beta = \frac{1}{2}$, $\tan \gamma = 7$ であるとき, $\tan(\alpha + \beta + \gamma) = \boxed{\text{ア}}$,
 $\sin(\alpha + \beta + \gamma) = \boxed{\text{イ}}$ である.

(2) 次の空欄に適することは、「必要十分条件である」場合は解答欄に 1 を、「必要条件であるが十分条件ではない」場合は解答欄に 2 を、「十分条件であるが必要条件ではない」場合は解答欄に 3 を、「必要条件でも十分条件でもない」場合は解答欄に 4 を記入しなさい。

(i) $x = 2$ かつ $y = -1$ であることは, $(x-2)(y+1) = 0$ であるための $\boxed{\text{ウ}}$.

(ii) x, y を実数とする. $x = 2$ かつ $y = -1$ であることは, $(x-2)^2 + (y+1)^2 = 0$ であるための $\boxed{\text{エ}}$.

(iii) $\triangle ABC$ が二等辺三角形であることは, $\triangle ABC$ が直角二等辺三角形であるための $\boxed{\text{オ}}$.

(3) 数列 $\{a_n\}$ が漸化式

$$a_n = \begin{cases} 1 & (n=1 \text{ のとき}) \\ \frac{4}{4-a_{n-1}} & (n > 1 \text{ のとき}) \end{cases}$$

によって定められるとき, この数列の一般項 a_n を求めたい.

$$a_n = 2 \left(1 - \frac{1}{b_n} \right) \text{ とおくと,}$$

数列 $\{b_n\}$ は漸化式

$$b_n = \begin{cases} 2 & (n=1 \text{ のとき}) \\ \boxed{\text{カ}} & (n > 1 \text{ のとき}) \end{cases}$$

をみたとす. したがって $b_n = \boxed{\text{キ}}$ となり, $a_n = \boxed{\text{ク}}$ を得る.

2 関数 $f(x) = x^3 + px^2 + qx + r$ (p, q, r は定数) が, 次の条件①②③をみたすとする.

① $x = a, x = \beta$ ($a < \beta$) で, $f(x)$ は極値をとる.

② 2点 $(a, f(a))$ と $(\beta, f(\beta))$ は原点に関して対称である.

③ $f(a) - f(\beta) = 32$.

このとき, $p = \boxed{\text{ア}}$, $q = \boxed{\text{イ}}$, $r = \boxed{\text{ウ}}$, $a = \boxed{\text{エ}}$, $\beta = \boxed{\text{オ}}$ で, $f(x)$ の極大値は $\boxed{\text{カ}}$ である.

曲線 $y = f(x)$ と x 軸との交点のうち x 座標が正である点における接線の方程式は $y = \boxed{\text{キ}}$ である.

3 放物線 $y = \frac{1}{2}x^2$ と直線 $y = a (a > 0)$ で囲まれた図形を y 軸の回りに回転してできる立体を容器と考える。このとき、 x 軸は水平面上にあり、 y 軸は水平面に垂直とする。

(1) この容器に水面の高さ $h (0 < h < a)$ まで水を入れたとき、水の体積 V および水面の面積 S を h を用いて表すと、
 $V = \boxed{\text{ア}}$ 、 $S = \boxed{\text{イ}}$ である。

(2) この容器を空にした状態から始めて、毎秒体積 v の水を注ぐ。ただし、 v は定数である。以下の値を v と a を用いて表せ。
水面の高さが $\frac{a}{2}$ に達するのは $\boxed{\text{ウ}}$ 秒後であり、そのときの水面の半径は $\boxed{\text{エ}}$ 、高さ h の増加する速さは毎秒 $\boxed{\text{オ}}$ 、半径の増加する速さは毎秒 $\boxed{\text{カ}}$ である。